

●プログラム●

上を向いて歩こう  
見上げてごらん夜の星を  
明日があるさ  
涙そうそう  
一本の鉛筆  
somewhere over the rainbow  
Lumiere (オリジナル) 他

歌：大島花子  
父・坂本九の想いを継ぐ  
シンガーソングライター

見上げてごらん夜の星を

透き通る歌声と  
心に響くギターで贈る  
大人の癒しの時間



ギター：笹子重治  
ショーロクラブのリーダー

大島花子 × 笹子重治

OSHIMA Hanako

SASAGO Shigeharu

LIVE

■ 坂本九の愛娘・大島花子のトーク&ライブ ■

父・坂本九の思い出や、その別れから感じた命の重さ、そして、かけがえのない日常の尊さを、音楽を通して伝えます。

黒部公演

2012年 12/21(金) 開場18:30  
開演19:00

黒部市国際文化センター コラーレ (マルチホール)  
全席自由 一般3,000円 高校生以下1,000円 (当日・各300円高)

●未就学児の入場はご遠慮願います。公演中、未就学児を対象とした「一時保育(無料)」を実施しています。公演前日の18:00までにお申し込みください。

■主催：財団法人黒部市国際文化センター

■共催：北日本放送

■後援：富山県 富山県公立文化施設協議会 黒部市  
黒部市教育委員会 北日本新聞社

プレイガイド

コラーレ/黒部メルシー/魚津サンプラザ/入善コスモホール/  
アーツナビ (新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館・  
富山県高岡文化ホール)

黒部市国際文化センター 富山県黒部市三日市20番地  
コラーレ TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207  
http://www.colare.jp/

砺波公演

2012年 12/22(土) 開場18:30  
開演19:00

砺波市文化会館 (多目的ホール)

全席自由 一般3,000円 高校生以下1,000円 (当日・各300円高)

●未就学児の入場はご遠慮願います。公演中、未就学児を対象とした「一時保育(無料)」を実施しています。公演前日の18:00までにお申し込みください。

■主催：公益財団法人砺波市文化振興会

■共催：北日本放送

■後援：富山県 富山県公立文化施設協議会 砺波市教育委員会  
北日本新聞社 FMとなみ

プレイガイド

高岡大和/クロスランドおやべ/福野文化創造センターヘリオス/  
アーツナビ (新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館・  
富山県高岡文化ホール)

砺波市文化会館 富山県砺波市花園町1-32  
TEL. 0763-33-5515 FAX. 0763-33-5516  
http://www.city.tonami.toyama.jp/~culture.hall/



# 大島 おおしま★はなこ 花子

1973年東京生まれ。東洋英和女学院大学卒業。ミュージカル女優、OLなどを経て、2003年メジャーデビュー。

幼少時に経験した父・坂本九との死別、また出産、育児をする中で「命の尊さ」そして「かけがえない日常のすばらしさ」を体感し、それらをアーティスト活動の中での大きなテーマとして掲げている。

笹子重治氏とのデュオというシンプルな編成にこだわったライブを定期的に行っており、「声」という楽器を最大限に活かしたパフォーマンスを一度聴いたひとは必ず虜になると言われている。

3歳の息子の母でもあり、親子ライブやマタニティーライブも好評。被災地訪問も積極的に行っており、妊産婦支援のNGOジョイセフからはチャリティーCD「Lumiere」が発売され話題になる。被災時、お腹にいた赤ちゃんの1歳の誕生日に贈られている「ファースト・バースデー・ギフト」にもそのCDは入っており、この企画は2012年のキッズデザイン賞にて復興支援デザイン賞「キッズデザイン協議会会長賞」を受賞。

2012年7月にはNHKのドキュメント番組「グラン・ジュテ」で活動と半生がフィーチャーされ、大きな反響を呼ぶ。

食育インストラクター、ジュニアベジタブル&フルーツマイスター。



# 笹子 ささご★しげはる 重治

1958年神戸市生まれ。ショーロクラブのリーダー。

ブラジリアン・スタイルのギタリストとして多くの来日ブラジル人アーティストとセッションを重ねた後、1986～87年にかけてブラジルで活動。帰国後ショーロクラブを結成し、ビデオアーツ、キングレコード、ソニーミュージック、オーマガトキ、ファンハウス (BMG) から1990年以降23枚のCDをリリースする一方、海外でのコンサート、NHKや民放番組の音楽担当等の活動を行う。2005年には、新たにユニット「コーコーヤ」を結成。2008年にアルバムデビューを果たしている。2010年8月、初のソロアルバム「onaka-ippai」をジェマティカレコードよりリリース。

また、同じく1990年以降、大島花子の他、EPO、比屋定篤子、鈴木亜紀、古謝美佐子、Yae、NUU、畠山美由紀、Ann Sally、大島保克、桑江知子、照屋実穂、chie、松田美緒、amin、手嶋葵、吉田慶子等の歌手や、城戸夕果 (fl)、熊本尚美 (fl)、かとうかなこ (ボタン式アコーディオン)、小松亮太 (バンドネオン) 等のインスト奏者との、プロデュースやサポートを中心としたコラボレーションを展開。特に、ギター1本によるそれらアーティストとのデュオによるパフォーマンスには、定評がある。

CDプロデュース、レコーディング、アレンジ等の他、作曲の分野でも、ショーロクラブの楽曲中の多くの自作品が、テレビ番組のテーマ音楽や挿入歌に採用されている。また、ブラジルの国民的作詞家パウロ・セザル・ピニェイロ、ルーツサンバの長老、故ギリエルミ・ジ・ブリート、日本でも人気の高いシンガーソングライタージョイスとの共作もあり、それぞれCD化されている。

